

# 子どもの未来 アクション



## 子どもの未来 アクション

子どもの未来アクションでは、推進検討委員会を設け、子ども子育てをめぐる問題に取り組む皆さまと、広くつながりながら、運動を進めてまいります。

### 子どもの未来アクション推進検討委員会

#### 【推進検討委員】

佐甲 学(全国社会福祉協議会)

室田信一(首都大学東京)

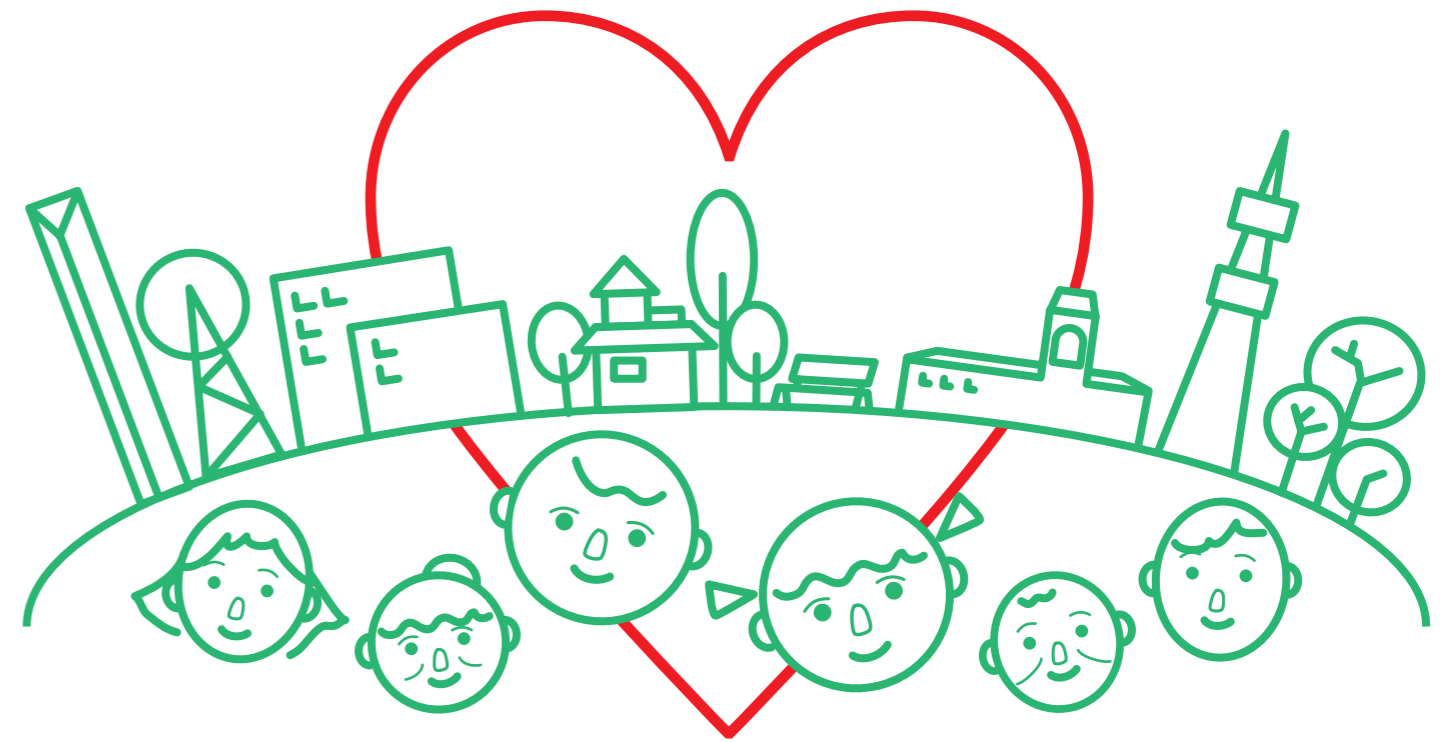
幸重忠孝(こどもソーシャルワークセンター)

小澤義春(みやぎ生活協同組合)

山本章代(大阪いずみ市民生活協同組合)

#### 【主催】

日本生活協同組合連合会



## 知ることから、学ぶことから、始めましょう

「子どもの未来アクション」は、  
貧困をはじめとする子どもの問題を社会の問題としてとらえ、  
学び、考えることから、共感の輪を広げていく運動です。

# 子どもの貧困問題、それは、私たち大人の問題、社会の問題でもあります。

子どもの貧困問題、それは、私たち大人の問題、社会の問題でもあります。

7人の子どもがいれば、そのうち1人が貧困状態にあるといわれ、

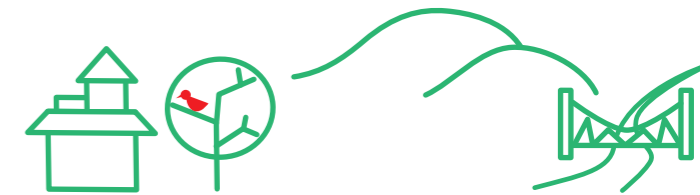
日本の子どもの貧困は、世界的に見ても深刻な状態です。

「私の周りには、そんな子はいないと思うけど…」という声をよく聞きます。

人々のつながりが薄くなる中で、困難を抱えて孤立した子どもたちがいます。

一方、これまでの様々な実践から、地域での助けや、見守りが、子どもたちの力になることも分かってきました。

この問題への理解を深めることで、一歩ふみ出しましょう。



## 子どもの未来アクションは…

### 子どもの貧困問題を理解するための 学習会を進めます。

身近な地域の問題として、考える人、応援する人、支援する人を増やします。

子どもの未来アクションで、共感の輪を広げます。

様々な立場の人たちと、ネットワークを築きながら子どもの貧困問題に取り組みます。

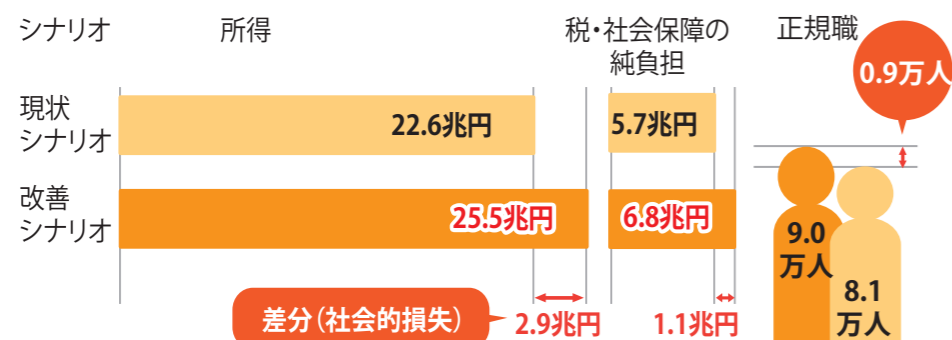


## 子どもの貧困に着目する理由

### ●子どもは「生まれてくる環境」を選べません

どんな環境にあっても、子どもたちが希望が持てる社会をつくることは、私たち大人の責任です。社会を担う一人ひとりが、地域の中でつながりながら、子ども・子育ての問題に関心を持ち、向き合うことが求められています。

■子どもの貧困がもたらす社会的損失  
(現在15歳の1学年のみで、生活保護世帯や児童擁護施設、ひとり親世帯の子ども約18万人を対象に推計)



出典：日本財団・三菱UFリサーチ & コンサルティング「子どもの貧困社会的損失推計レポート 2015年12月」より作成

### ●子どもの貧困は「貧困の連鎖」を生み出します

貧困によって子どもたちの可能性が狭められることは、子ども自身にとっても、社会にとっても、大きな損失です。貧困状態は世代間の連鎖を生じさせます。いま、「貧困の連鎖」を断ち切ることが求められています。



出典：「子どもの貧困ハンドブック」かがわ出版刊より

### ●「より良い社会」を子どもたちに渡すことは、大人の役割です

子どもは、大人や社会によって育まれる存在です。子ども自身が貧困から抜け出すことは困難です。子どもの貧困は、子どもや家庭だけの問題ではなく、社会全体の問題として捉えなければ改善されません。

見えにくい子どもたちの貧困が地域の課題になっています。

